

「待機児童ゼロ」を実現しました

4月15日号でお伝えしたとおり、区は30年4月1日時点で、国の定義に基づく「待機児童ゼロ」を実現しました。これは厚生労働省が調査を開始した平成13年度以降、初めてのこととなります。

区では、保護者が働きながら安心して子育てができるよう、引き続き必要な施設を整備するとともに、保育の質を確保する取り組みを進めていきます。



「待機児童ゼロ」実現までの主な経緯

区は、22年度以降、認可保育所を核とした保育施設の整備に取り組んできました。(グラフ①)

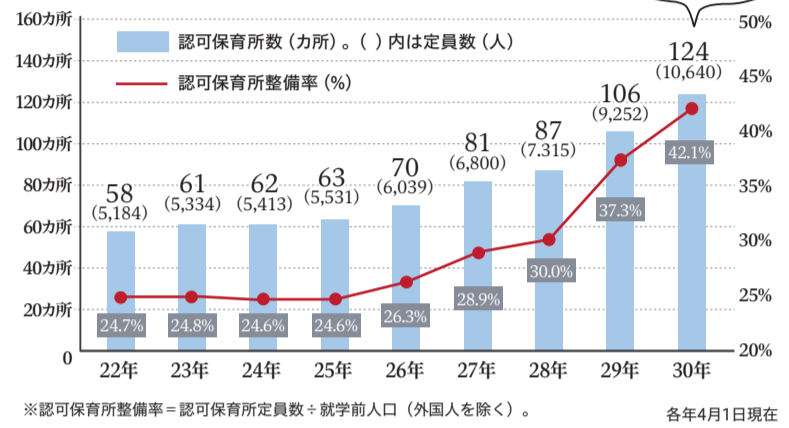
28年度には、29年4月の待機児童数が560名を超えることが見込まれたため、「すぎなみ保育緊急事態」を宣言。全庁を挙げて、区有地の活用を含む緊急対策を実施し、29年4月の待機児童数は29名にまで減少しました。(グラフ②)

さらに、29年度も計画を可能な限り前倒して整備等を進めた結果、区全体の保育定員は大幅に増加し、本年4月時点で「待機児童ゼロ」を実現しました。



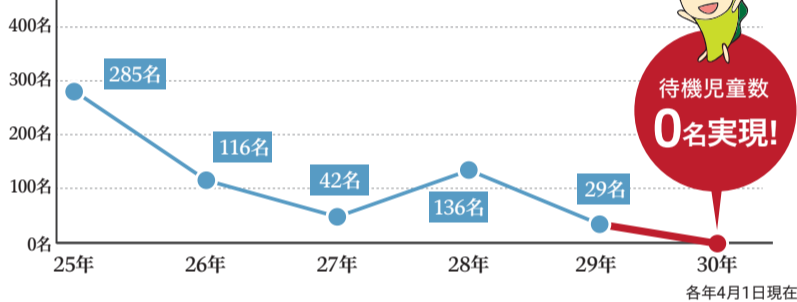
30年4月に新設された認可保育所

グラフ① 認可保育所の箇所数・定員数・整備率※

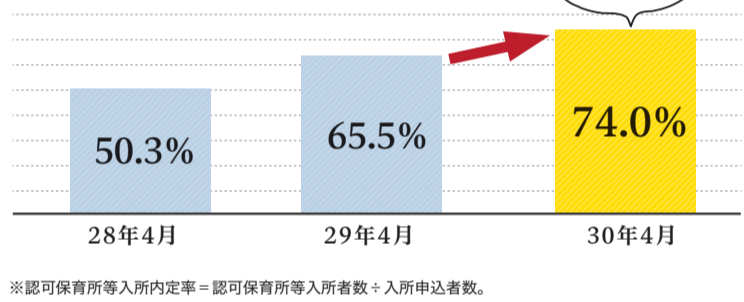


22年より許可保育所の箇所数・定員数は2倍以上に!

グラフ② 待機児童数の推移



認可保育所等入所内定率※



入所内定率 上昇!

今後の取り組み

● 保育施設の整備を続けます

区は今後も、各地域の保育需要の分析を行い、保育定員の不足が見込まれる地域を重点に、認可保育所を核とした施設整備を進め、「待機児童ゼロ」の継続に向けて取り組んでいきます。(右表)

● 保育の質の維持・向上を図ります

30年度は、心理専門職や園長経験者が各施設を訪問する巡回指導・相談(事前連絡無しの訪問を含む)のほか、私立・区立保育施設の保育士を対象とした合同研修を拡充します。また「すぎなみ保育サポートライン」(専用電話)を新たに設置し、私立保育施設の施設長・保育士等の相談にきめ細やかに応じていきます。

みんなの笑顔があふれる毎日。



31年4月に向けた認可保育所の整備予定 (30年5月1日現在)

地域	施設数	定員(予定)
阿佐谷地域	3カ所	261名
方南・和泉地域	3カ所	213名
高井戸地域	3カ所	199名
荻窪地域	1カ所	113名
その他の地域	4カ所	62名
合計	14カ所	848名

※「その他の地域」には、施設の定員増を含む。

30年度も1,000人規模の定員増を目指して整備を推進!

区長からのメッセージ

区民の皆さんに、国の定義に基づく今年4月1日時点の待機児童数がゼロになったことをご報告いたします。

私は区長就任以降、認可保育所を核とした保育の場の整備・確保に全力を挙げて取り組んできましたが、ようやく「待機児童ゼロ」のご報告ができることとなりました。

一昨年には、「すぎなみ保育緊急事態」を宣言し、これまで前例の無かった規模で、区立公園を含む区有地も活用した認可保育所の整備を進めました。この間の取り組みは、多くの区民の方のご理解とご協力無くしては成し得なかったものであり、改めて心より感謝申し上げます。

杉並区長 田中 良

しかしながら、今回の「待機児童ゼロ」は私たちのゴールではありません。引き続き、お子さんを預けたい保護者の皆さん一人ひとりの思いに応えていく必要があると考えています。

このため、今後とも、保育の質の維持・向上や保育人材の確保に注力すると同時に、手綱を緩めることなく保育施設の整備に取り組み、次年度以降も待機児童ゼロを実現できる環境を整えるために全力を尽くしていく決意です。区民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。



世帯と人口 (住民基本台帳) 4月1日現在()は前月比

世帯数	日本人のみの世帯	外国人のみの世帯	日本人と外国人の世帯	合計
	306,339(2,208増)	11,126(75増)	2,530(13増)	319,995 (2,296増)

人口	男	女	小計	合計
日本人	263,587(927増)	286,558(1,185増)	550,145(2,112増)	566,551 (2,212増)
外国人	8,178(35増)	8,228(65増)	16,406(100増)	